

# 紙智子参議が志位委員長とともに福島第1原発を視察 これが「収束」と言えるのか！怒りあらたに“原発ゼロの日本を”

免震重要棟で説明を受ける志位委員長ら視察団  
(右から2人目が紙智子議員)



汚染水貯蔵タンク群の前の視察団  
(左から3人目が紙智子議員)



## 東電福島第1原発の姿を語る 紙智子参議の視察談

3月9日、志位和夫委員長は紙智子参議、高橋ちづこ衆議、笠井亮衆議、福島県議団らとともに、東電福島第1原発を視察しました。志位委員長らは、事故の復旧作業の拠点となっている免震重要棟の緊急対策室で、所長らの説明を聞いた後、バスで敷地内を移動。「外の空気が顔のほうに入らないように全面マスクをして、防護服を着てヘルメットをかぶっての視察です。いかに危険な状態であるかと言うことです。3号機周辺は高い放射線量で誰も近寄れない状況で、移動するバスはスピードを上げて早く通り過ぎるんです」と紙智子議員は、現場の様子を話します。「政府は『収束』と言ってきましたが、こんな状態は収束とは程遠いもので、現場に入って、この目で見て強く感じました」

### “こんな状態で再稼働はあってはならない”

「高濃度放射性ストロンチウムなどを含む放射能汚染水を貯蔵するタンク群。1000トンのタンクが2日半でいっぱいになり、敷地内にタンクを設置できる限界が2年後に来るとの説明がありました。問題の深刻さを目のあたりにしました。こんな状態で原発再稼働などとはとんでもないことです」と「泊原発ははじめすべての原発を廃炉にすべきです」と怒りもあらたにして決意を語っています。

## TPP交渉参加を断念させよう！ 緊急道民集会に1400人 紙智子議員が激励の挨拶

北農中央会、道商工会議所、道医師会、消費者協会、道生協連など「オール北海道」による実行委員会が開催した緊急道民集会に1400人が集まり、「TPP交渉への参加を断念するまで、道民一丸となってたたかいをすすめることをあらためて決意する」と決議を採択しました。

**現職国会議員の参加は、紙智子議員だけ  
自、公、民、大地の現職議員は欠席**

緊迫した状況の中で自民、公明、民主は誰も参加しないことに、「昨年の選挙公約を守るのか」と不信と怒りの声がありました。



札幌市内をデモの先頭に、飛田北農中央会会長、紙智子議員

**全国はひとつ 比例代表は日本共産党 5人を必ず国会へ  
北海道選挙区からは森つねと国政相談室長を**

**日本共産党国会議員団北海道事務所ニュース** 2013・3・13 3月 no.3

札幌市中央区南1条東4丁目 ☎011・261・0786 FAX011・251・5408 E-mail: jcphkd@jcphkdbl.gr.jp